

入試情報

入試日	願書提出	合格発表	内申点計算方法
■推薦・特色選抜 2/4(木) ■一般選抜 3/9(水)	1/27(水)、28(木) 2/24(火)、24(水)	2/12(金) 3/16(水)	135点満点 (各教科5点×9教科×3学年分) ※学校によって学力検査得点と内申点の比率は異なる。

教育のプロ
トライさん



傾向

- 平成27年度の入試より、試験時間が各科目において40分から50分に変更となり、出題範囲の拡大が予想される。
- 特色選抜の倍率が平均3倍以上と高く、一般選抜の対策が最重要である。
- 出願後に変更することができ、周りの動向やその年の倍率を見てから、最終的に志望校を決めることができる。
- 出願先に2学科ある場合は、同じ学校で学科ごとに出願することができる

科目別対策

英語

- リスニングが約3割を占めるので、5W1Hを意識して練習しよう。
- 大問2は長文だが対話形式で読みやすいので、確実に得点しよう。
- 大問3は文章が長いので、段落ごとに内容を把握することが大切。
- 英作文は、難しい言い方を考えず簡単な英語を使って書こう。

数学

- 小問集合の配点は38点と高いため、速く確実に解く練習をしよう。
- 関数は、計算方法や式の導き方など、解き方を復習しておこう。
- 図形は、基本問題だけでなく定理を応用して解けるようにしよう。
- 証明2題に時間を割けるようにするため、時間配分がポイント。

国語

- 用語や品詞など、現代文の文法は必ず押さえておくことが重要。
- 読解問題はやや難解なので、段落ごとに内容把握することが大切。
- 記述量が多いので、論理的に説明できるように練習しておこう。
- 記述問題は先生に添削をしてもらい、ポイントをつかもう。

理科

- 生・物・地・化 各25点配点なので、バランスよく対策しよう。
- 実験観察の問題が多いので、実験方法や結果を確認しておこう。
- 生物・地学は記述問題があり、的確に答える練習が必要。
- 物理・化学はグラフ作成や体積の計算問題を必ず対策しておこう。

社会

- 地・歴・公 ほぼ均等配点のため、対策もまんべんなくすること。
- 問題数が多く時間配分が力ギなので、わかる問題から解くこと。
- 用語を覚えるときは資料集を活用し、関連事項と一緒に覚えよう。
- 歴史は、時代の大きな流れと各時代の特徴をつかむことが大切。